

名寄市の教育のさらなる充実を目指して

名寄市教育委員会教育長 小野 浩一



名寄市教育委員会に勤務いたしましてから、早いもので一年間が過ぎました。この間、市の職員や教育関係者をはじめ、市民の皆さまに支えていただきながら、名寄市の教育行政を推進してこれましたことに心より感謝を申し上げます。

さて、我が国におきましては、小学校の新学習指導要領が全面実施されて一年が経過し、中学校でも本年度から全面実施を迎えています。

新学習指導要領告示から趣旨の周知・徹底の時期を経て、今まさに小中学校段階での新しい教育実践の本格期に入っています。

ご承知のように、この度の学習指導要領の改訂では、教育基本法や学校教育法等の改正によって新しい教育の理念が明確に示されました。それは「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などの生きる力を調和的にはぐくむことであります。

このような状況を踏まえ、本年度、名寄市教育委員会では、名寄市教育研究所に名寄市教育改善プロジェクト委員会を設置しました。そして、市内の全ての小中学校の校長先生や教職員の皆さま方の英知を結集して名寄市の教育を総合的に見直し、5カ年計画で子どもたちの生きる力の育成に力を注いでまいります。

とりわけ、本年度から3年間は、子どもたちの学力の向上を目指し「学習指導の工夫改善」「校内研修(研究)の充実」「教育資源等の活用」の三つの研究グループを立ち上げて具体的な取り組みを進めていきます。

名寄市教育委員会では、このような取り組みを通して、名寄市の学校教育、社会教育の一層の充実・発展に努めてまいります。今後とも、市民の皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願いを申し上げます。



▲ピヤシリ大学体育祭（長靴飛ばし）



▲中名寄小児童との懇談会



▲風連中央小児童と給食を囲んで交流